

■ 栄養はなぜ必要？

私達は栄養を摂取することで、生命を維持しています。

栄養を取れない飢餓状態では、まず、肝臓や筋肉に蓄えられているグリコーゲン（ブドウ糖が結合したもの）をエネルギー源として利用します。しかし、その貯蔵量は少なく、わずか1日で使い切ってしまいます。

次に、体内の脂肪や**蛋白質**を分解して、エネルギー源として利用します。

このように食事ができないと脂肪や筋肉の分解が進み、からだの**蛋白質**が25～35%失われると死亡するといわれています。



■ 栄養状態を評価する上で、大切な**血清アルブミン**について紹介します！！

血清アルブミン（基準値 3.5～5.0g/dl） ～肝臓で合成され、血液中に流れる**蛋白**の一種です～

【役割】① 細胞間にあふれた水分を血管に再び吸収させる手助けをする。

② 生体内物質の輸送。

③ **アミノ酸の供給源**

【特徴】・血中半減期が20日前後と長いので、
短期の栄養評価には適しません。 →
・立位に比べ臥位では約0.2～0.5g/dl 低値になります。

【アルブミンが低下する原因】

- 1 摂取不良（低栄養、低蛋白、飢餓、吸収不良症候群）
- 2 漏出（ネフローゼ症候群、蛋白漏出性胃腸症）
- 3 代謝亢進（クッシング症候群、甲状腺機能亢進症）
- 4 合成低下（肝硬変）

【栄養障害のめやす】

NST では 3.5 g / dL 以下を栄養不良とみなして
栄養状態改善のためのアプローチを行っています。

アルブミンのかわりに短期の栄養状態を把握できる蛋白(RTP)があります。

RTPの種類	半減期
プレアルブミン	3～4日
トランスフェリン	8～12日
レチノール結合蛋白	12～16時間

※RTP:Rapid turnover protein

※RTPの検査は外注検査です。

【お知らせ】手術前に服用する「インパクト(免疫増強栄養剤)」について

8月から、大腸だけでなく胃の手術を受ける患者さんにも飲んでいただくことになりました。服用期間はこれまでと同じ術前6日目から5日間です。糖尿病の方や乳製品・ゼラチンなどにアレルギーのある方は原則服用できませんので、確認をお願いします。

インパクトについてご不明な点があれば、最寄のNSTスタッフにお気軽にお尋ねください。

